

入札説明書

市が行う建設工事の工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則(平成17年米子市規則第106号)及び米子市会計規則(平成17年米子市規則第44号)を承知のうえ参加してください。

記

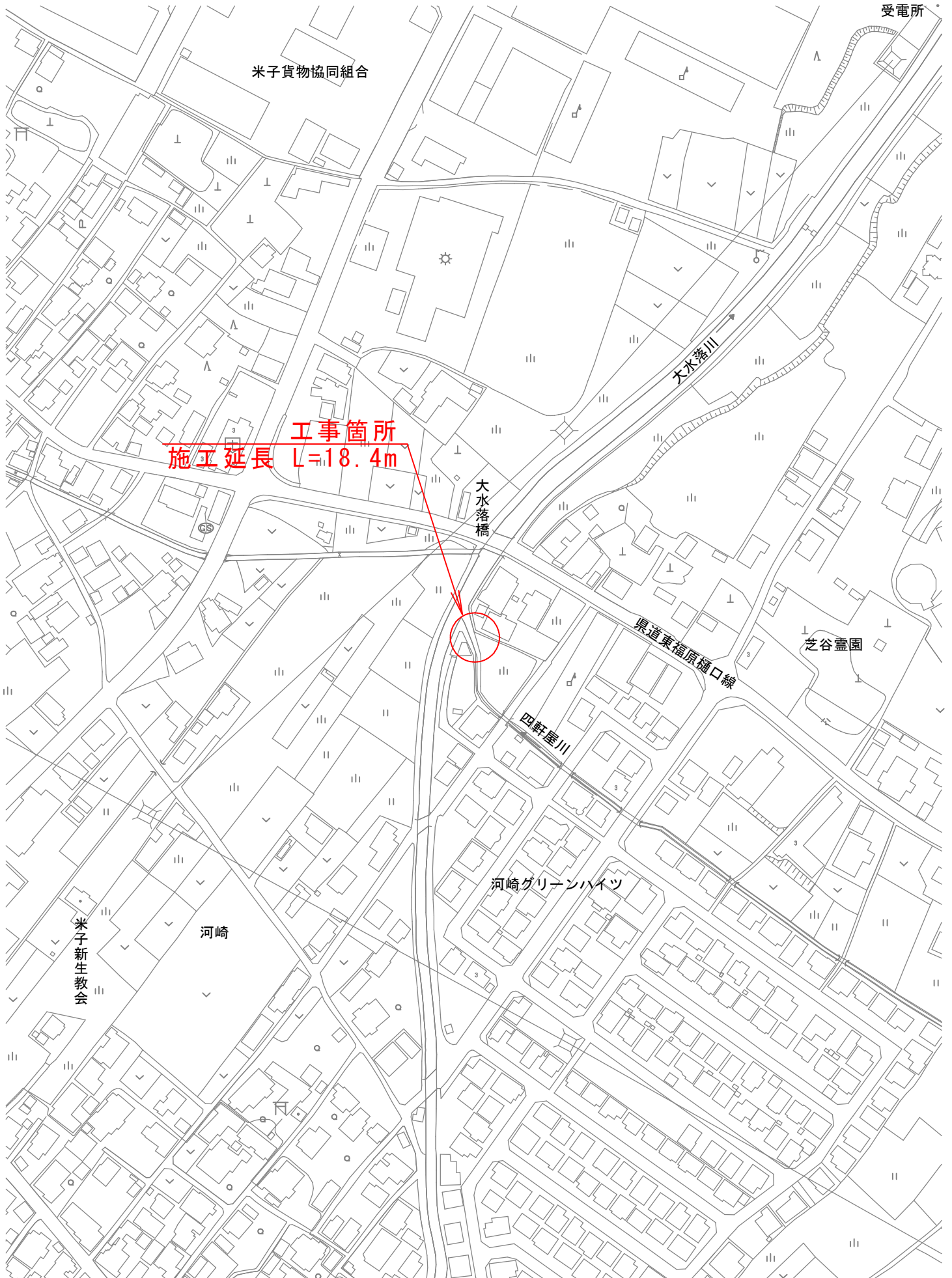
工事希望型指名競争入札に付する工事	工事名	四軒屋川改良工事		
	工事場所	米子市河崎地内	工期	契約日から 令和6年2月16日まで
契約条項を示す場所	担当課	米子市総務部契約検査課 道路整備課		
入札保証金に関する事項	入札保証金	免除		
現場説明会	なし			
開札の日時及び場所	日時 場所	令和5年10月3日 午前9時40分 本庁舎202会議室 開札		
契約保証に関する事項	<p>請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。</p> <p>(1) 契約保証金の納付 (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供 (3) 銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社(公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。)の保証 (4) 公共工事履行保証証券による保証 (5) 履行保証保険契約の締結</p>			
前払金	有	40%以内 ※ただし、請負代金の額が130万円を超える場合に限る		
部分払	有	回数、米子市建設工事執行規則による ※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。 入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。 入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。 入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。 入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。 落札となるべき価格と同一価格の入札をしたものが2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて、落札者を決定するものとする。この場合において、くじを引くべき入札者が、当該入札の立会者として参加している場合はその者が、参加していない場合は入札事務に関与しない職員に当該入札者に代わってくじを引かせるものとする。 本件工事は、米子市建設工事最低制限価格設定要領に定める方法により、予定価格の2/3(ただし、8/10を下回る場合は、8/10とする。)以上で最低制限価格を設定しており、最低制限価格を下回る価格で入札があった場合は、当該入札者を失格とし、予定価格の範囲内の価格で入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とする。 入札書に工事費内訳書が同封されていない場合は、無効とする 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格(円未満切捨て(単価契約を除く。))とするので、入札者は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積った契約希望価格の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)等に抵触する行為を行ってはならない。 入札回数は、1回とする。 			
その他の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。 申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。 同一の主任技術者は、米子市が発注した工事(通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。)に3件を超えて従事することはできないものとする。 別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。 工事現場に配置する技術者等(主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。)は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係(第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。)が申込日までに3ヶ月以上ある者に限るものとする。 			
施工に関する注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 工事設計図書 別紙のとおり 本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。 この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するよう努めること。 工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。 			
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格				¥34,053,800
最低制限価格	(直接工事費+共通仮設費+現場管理費の9/10+一般管理費5.5/10)×1.1			

工 事 設 計 書

令和 5 年度	工事名	四軒屋川改良工事				
		部長	課長	担当課長補佐	審査	設計
設 計 金 額	円					
工 期	契約日 から 令和6年2月16日 まで					
工 事 場 所	米子市 河崎 地内					
工 事 概 要	施工延長 L=18.4m					
	河川土工 一式					
	法覆護岸工 一式					
	擁壁護岸工 一式					
	付帯工 一式					
	構造物撤去工 一式					
	仮設工 一式					

米 子 市

位置図



数量総括表

設計書名：四軒屋川

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
河川土工				式	1	
	残土処理工			式	1	
		土砂等運搬	土砂	m3	300	
		残土等処分		m3	300	
法覆護岸工				式	1	
	作業土工			式	1	
	コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)			式	1	
		コンクリートブロック積	控え35cm, 裏コンなし	m2	50	
		基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m	33	
		天端コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m	33	
	張りコンクリート工			式	1	
		1号底張コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m2	32	
擁壁護岸工				式	1	
	場所打擁壁工(構造物単位)			式	1	
		小型重力式擁壁	平均H=1.27m, $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m	4	
	張りコンクリート工			式	1	
		2号底張コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m2	2	

設計数量総括表

設計書名：四軒屋川

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
付帯工				式	1	
	張りコンクリート工			式	1	
		張りコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2, t=10cm$	m2	17	
構造物撤去工				式	1	
	構造物取壊し工			式	1	
		コンクリート構造物取壊し	無筋構造物, 機械施工	m3	34	
		コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物, 機械施工	m3	0.2	
		舗装版切断	C ₀ 舗装版, t=15cm以下	m	3	
	運搬処理工			式	1	
		殻運搬	無筋コンクリート構造物取壊し, 機械施工	m3	34	
		殻運搬	鉄筋コンクリート構造物取壊し, 機械施工	m3	0.2	
		殻処分	コンクリート殻(無筋)	t	80	
		殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	t	0.5	
仮設工				式	1	

1 仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4 工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5 建設機械の使用について

- (1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成17年11月15日付第200500080172号県土整備部長通知）によること。

6 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7 ダンプトラック等による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11 労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に加入するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16 コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5パーセント以下、無筋コンクリートについては6.0パーセント以下とする。

17 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (5) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第25条第5項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第26条第5項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第26条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第25条」と読み替えるものとする。

契約書第25条第6項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第25条第6項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

現場説明書

令和5年4月1日改正
特記事項 1

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県土木工事施工管理基準</u> ・ <u>鳥取県県土整備部用地調査等共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県県土整備部工損調査等標準仕様書</u>	
工程	① (他工事等との調整) ② (部分完成、着工保留) ③ (施工時間) ④ (余裕期間設定工事) ⑤ (鋼材の調達の遅れによる工期の延長) ⑥ (週休2日モデル工事)	_____については、_____と関連するので相互の連絡を密にすること。 _____については、_____まで_____ (すること ・ しないこと)。 本工事の施工時間は、 <u>8:30 ~ 17:00</u> とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市「週休2日工事モデル工事」試行実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。モデル工事を選択する場合は、工事着手日までに発注者に協議をすること。選択後の取扱いについては、同要領の規定による。
用地関係	① (用地・物件等未処理)	本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	① (埋設物等の事前調査) ② (支障物件) ③ (立木の置き場所)	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[<u>未調査・調査済み</u>]である。 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
対公害	① (騒音振動対策)	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	① (交通安全施設等)	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数_____日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計_____名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計_____名（交代要員[有・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合には、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置しているとみなす。
排水濁水	① (濁水処理)	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難しい場合は別途協議すること。

現場説明書

特記事項 2

	<p>【建設発生土（処理）】</p> <p>①（他工事等流用）</p> <p>②（建設技術センター）</p> <p>③（民間残土受入地）</p> <p>④（土質改良プラント）</p>	<p>建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ 工事現場に運搬（片道運搬距離 _____ km）するものとする。</p> <p>建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 _____ km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり円をセンターに支払うこと。</p> <p>建設発生土は 米子 市・町・村 尾高 地内の（有）小倉興産 に運搬（片道運搬距離 18.6 km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり 1,700 円を 事業者 に支払うこと。</p> <p>建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ に運搬（片道運搬距離 _____ km）するものとする。なお、処理費として1m³当り _____ 円を _____ に支払うこと。</p>
建設 副 産 物 の 処 理	<p>【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】</p> <p>⑤（分別解体等）</p> <p>⑥（他工事等流用）</p> <p>⑦（再資源化施設への搬出）</p> <p style="text-align: center;">（施設の名称・受入れ費用）</p> <p style="text-align: center;">（受入れ時間帯）</p> <p style="text-align: center;">（受入れ条件）</p> <p>⑧（木材市場等へ売却）</p>	<p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。</p> <p>なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。</p> <p>コンクリート塊 1 m³当り 9,055 円（無筋）、15,840 円（有筋）</p> <p>アスファルト塊 1 m²当り _____ 円</p> <p>建設発生木材 1 m³当り _____ 円</p> <p>[Co 雑割材・ _____]は、 _____ 市・町・村 _____ 地内 _____ 工事現場に運搬（片道運搬距離 _____ km）するものとする。</p> <p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。</p> <p>再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。</p> <p>なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。</p> <p>コンクリート塊 米子 市・町・村 夜見町 地内の（有）大成商事（運搬距離 1.2 km）、費用 1 t 当り（無筋）1,300 円、（有筋）1,800 円</p> <p>アスファルト塊 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____（運搬距離 _____ km）、費用 1 t 当り _____ 円</p> <p>廃プラスチック _____ 市・町・村 _____ 地内の _____（運搬距離 _____ km）、費用 1 m³ 当り _____ 円</p> <p>鉄くず 米子 市・町・村 夜見町 地内の（有）大成商事（運搬距離 1.2 km）、費用 1 t 当り 39,000 円</p> <p>刈草 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____（運搬距離 _____ km）、費用 1 t 当り _____ 円</p> <p>木くず _____ 市・町・村 _____ 地内の _____（運搬距離 _____ km）、費用 1 t 当り _____ 円</p> <p>※廃プラスチック類 ①廃合成樹脂建材 ②廃発泡スチロール等梱包材 ③廃タイヤ ④廃シート</p> <p>8時～17時（平日）</p> <p>ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。</p> <p>イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。</p> <p>ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____ cm 以下、長さ _____ m 以下であること。</p> <p>エ 2次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。</p> <p>建設発生木材は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ への搬出（片道運搬距離 _____ km）を想定し、 _____ 円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。</p>

現場説明書

特記事項 3

建設副産物の処理	<p>⑨ (最終処理等)</p> <p>⑩ (産業廃棄物の処理に係る税)</p>	<p>_____については、_____市・町・村 _____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、その費用として1t当たり_____円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。</p> <p>産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を_____円見込んでいる。</p>
建設副産物の使用	<p>① (建設発生土の使用)</p> <p>② (再生資材の使用)</p>	<p>米子市安倍残土置き場 から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所： <u>工事用道路盛土・置換土</u> に使用する。</p> <p>1) C o 雑割材は、_____工事から運搬し、 使用箇所： _____に使用する。</p> <p>2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____工事から運搬し、 使用箇所： _____に使用する。</p> <p>3) ・再生クラッシャーラン〔規格： RC-40 〕は、 使用箇所： <u>裏込砕石、敷砂利</u> に使用する。 ・再生コンクリート砂〔規格： RS-_____〕は、 使用箇所： _____に使用する。</p> <p>4) 再生加熱アスファルト混合物〔規格： _____〕は、 使用箇所： _____に使用する。</p> <p>5) その他再生資材〔資材名： _____〕〔規格： _____〕は、 使用箇所： _____に使用する。</p>
工事用道路	<p>① (農地の一時転用について)</p>	<p>本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。</p> <p>なお、本工事で仮設道路等として使用する範囲については、発注者が借用するものとする。</p>
仮設備		

現場説明書

特記事項4

- ① (労災補償に必要な保険の付保)
- ② (現場環境改善)

本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。

下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。

実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。

地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。

1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

その他

- ③地盤変動影響事前調査費について
- ④経費対象外について

本工事における調査対象建物は、木造建物 3 棟、非木造建物 1 棟を予定し、その費用については、2,194,000 円を見込んでいる。

地盤変動影響事前調査費及び鋼矢板切断に伴うスクラップ費用については、間接工事費、一般管理費等の対象額に含めない。

※明示する項目を_____部分に記入又は追記し、不要部分は——で削除して使用すること。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他()		
工事の種類	<input type="checkbox"/> 新築工事 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・修繕工事 <input type="checkbox"/> 解体工事 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他()		
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)	<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/> 木材		
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 _____ 年 その他()	
	周辺状況	周辺にある施設 <input checked="" type="checkbox"/> 住宅 <input checked="" type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他() 敷地境界との最短距離 約 _____ m その他()	
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容		工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所	作業場所 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 その他()	
	搬出経路	障害物 <input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約 _____ m 通学路 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 その他()	
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)	<input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	その他		周辺住民への周知
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	①仮設	仮設工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他()	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序 (解体工事のみ)	<input type="checkbox"/> 上の工程における⑤→④→③の順序 <input type="checkbox"/> その他() その他の場合の理由()		
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)	トン		
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	使用部分又は発生が見込まれる部分(注)
		<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート塊	量の見込み 80.5トン <input type="checkbox"/> ① <input checked="" type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input checked="" type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
		<input type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
		<input type="checkbox"/> 建設発生木材	トン <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他			
備考			

□欄には、該当箇所「レ」を付すこと。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 実施設計書 当初 05-*****-0807 -40 0 1 実施単価 30 米子市 0-05.08.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 緊急工事 契約保証区分 豪雪割増 工事価格端数処理 工期算定区分 週休二日補正係数	01 河川 01 率計上する（地方部） 19 補正なし 00 通常工事 0% 01 金銭保証（0.04%） 01 豪雪割増あり 00 千円止め（土木） 02 算出しない 01 週休二日補正なし				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費									X1000	
築堤・護岸									Y1A01	(レベル1)
河川土工									Y1A0101	(レベル2)
残土処理工									Y1A010108	(レベル3)
土砂等運搬									Y1A01010802	(レベル4)
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離19.5km以下(14.0km超)	300								SPK22040002 0 A=1, B=1, C=1, D=2, E=32	
残土等処分									Y1A01010803	(レベル4)
投棄料									#0041 C=投棄料	050810
建設残土処分料 地山 (有)小倉興産	300								TTV0060	0

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法覆護岸工					Y1A0107 (レベル2)
		一式			
作業土工					Y1A010701 (レベル3)
		一式			
床掘り					Y1A01070102 (レベル4)
		m3			
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	130	m3			SPK22040015 0 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1 単第0-0002 表 050810
埋戻し					Y1A01070103 (レベル4)
		m3			
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	60	m3			SPK22040020 0 A=3, D=1 単第0-0003 表 050810
埋戻し 最大埋戻幅4m以上	60	m3			SPK22040020 0 A=2, D=1 単第0-0004 表 050810
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	60	m3			SPK22040007 0 A=1, B=1 単第0-0005 表 050810
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)	60	m3			SPK22040002 0 A=1, B=1, C=1, D=1, E=10 単第0-0006 表 050810

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
Coブロック工 (Coブロック積)		一式			Y1A010703 (レベル3)
コンクリートブロック基礎		m			Y1A01070301 (レベル4)
基礎コンクリート	33	m			V0006 0 単第0-0007 表 050810
コンクリートブロック積		m ²			Y1A01070305 (レベル4)
コンクリートブロック積工(練積) 滑面ブロック (リサイクル製品) 18-8-40BB	50	m ²			SDT00039 0 A=1, B=2, C=1, E=1, I=1, L=1 単第0-0009 表 050810
胴込・裏込コンクリート		m ³			Y1A01070307 (レベル4)
胴込・裏込コンクリート 間知ブロック・緑化ブロック 18-8-40BB	11	m ³			SPK22040044 0 A=1, B=2, D=1 単第0-0010 表 050810
胴込・裏込材(砕石)		m ³			Y1A01070308 (レベル4)
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40	23	m ³			SPK22040045 0 A=1, B=1 単第0-0011 表 050810

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天端コンクリート					Y1A01070313 (レベル4)
		m3			
天端コンクリート					V0007 0
	33	m			単第0-0012 表 050810
張りコンクリート工					Y4999 (レベル4)
1号底張コンクリート					V0002 0
	32	m2			単第0-0014 表 050810
擁壁護岸工					Y1A0108 (レベル2)
		一式			
場所打擁壁工(構造物単位)					Y1A010803 (レベル3)
		一式			
重力式擁壁					Y1A01080302 (レベル4)
		m3			
小型重力式擁壁					V0005 0
	4	m			単第0-0016 表 050810
張りコンクリート					Y4999 (レベル4)

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2号底張コンクリート					V0003 0
	2	m2			単第0-0019 表 050810
付帯工					Y3999 (レベル3)
張りコンクリート					Y4999 (レベル4)
コンクリート打設工 防草コンクリート Co厚さ100mm 18-8-20BB					S1040011 0 A=2, B=2, C=1, D=1, F=100, G=1
	17	m2			単第0-0020 表 050810
構造物撤去工					Y1A0114 (レベル2)
		一式			
構造物取壊し工					Y1A011406 (レベル3)
		一式			
コンクリート構造物取壊し					Y1A01140601 (レベル4)
		m3			
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工					SDT00031 0 A=1, B=1, C=2, D=1
	34	m3			単第0-0022 表 050810
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工					SDT00033 0 A=1, B=1, C=2, D=1
	0.2	m3			単第0-0023 表 050810

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断		m			Y1A01140602 (レベル4)
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	3	m			SPK22040303 0 A=2, C=1, E=1 単第0-0024 表 050810
運搬処理工		一式			Y1A011416 (レベル3)
殻運搬		m ³			Y1A01141601 (レベル4)
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離1.6km以下	34	m ³			SPK22040142 0 A=1, B=1, C=1, D=7, E=1 単第0-0025 表 050810
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離1.6km以下	0.2	m ³			SPK22040142 0 A=2, B=1, C=1, D=7, E=1 単第0-0026 表 050810
殻処分		m ³			Y1A01141602 (レベル4)
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
殻処分 コンクリート殻 無筋 (有)大成商事	80	t			TTV0040 0 050810

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻処分 コンクリート殻 有筋 (有)大成商事	0.5	t			TTV0041 0 050810
仮設工		一式			Y1A0115 (レベル2)
工事用道路工		一式			Y1A011501 (レベル3)
工事用道路盛土		m3			Y1A01150101 (レベル4)
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	210	m3			SPK22040007 0 A=1, B=1 単第0-0005 表 050810
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)	210	m3			SPK22040002 0 A=1, B=1, C=1, D=1, E=10 単第0-0006 表 050810
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量10,000m3未満 障害無し	210	m3			SPK22040004 0 A=3, B=1, C=1 単第0-0027 表 050810
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	210	m3			SPK22040001 0 A=1, B=1, D=2, E=1, F=3 単第0-0028 表 050810
敷砂利		m2			Y1A01150103 (レベル4)

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷砂利 再生砕石を使用する	21		m3			S0283 0 単第0-0029 表 050810
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	20		m3			SPK22040001 0 A=1, B=1, D=2, E=1, F=3 単第0-0028 表 050810
敷鉄板			m2			Y1A01150104 (レハ ^ル 4)
敷鉄板設置	80		m2			S1050041 0 単第0-0031 表 050810
敷鉄板撤去	80		m2			S1050043 0 単第0-0033 表 050810
敷鉄板賃料 22×1524×3048, 802kg/枚 賃貸期間4 8 日	18		枚			S1050029 0 A=3, B=1, C=48, D=2 単第0-0034 表 050810
土留・仮締切工			一式			Y1A011504 (レハ ^ル 3)
鋼矢板			枚			Y1A01150402 (レハ ^ル 4)
鋼矢板圧入(Nmax≤50) Nmax≤25で杭打ち用WJ使用 陸上施工 3型 圧入長(m)_9以下(6超)	75		枚			S0450 0 A=1, B=2, C=2, D=2 単第0-0035 表 050810

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼矢板購入費 Ⅲ型 [60kg/m] 中古品 建設物価2023年8月P4	1	一式			V0001 0 単第0-0039 表 050810
矢板継施工費 鋼矢板Ⅲ型	75	箇所			W0001
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入 (Nmax≤50) ⅢⅢ型	2	回			S0458 0 A=2, B=2, C=1 単第0-0040 表 050810
ガス切断 鋼矢板	75	箇所			S0180 0 A=3 単第0-0041 表 050810
現場発生産品・支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2t吊 片道運搬距離2.0km以下	2	回			SPK22040408 0 A=1, B=1, C=7 単第0-0042 表 050810
スクラップ 鉄くず へビー H1	3	t			TTU0052 0 050810 8
土のう積		m2			Y1A01150420 (レベル4)
土のう拵え, 積立, 撤去工 小口並べ	1	m2			S1012 0 A=1, B=1, C=1 単第0-0043 表 050810
ブロック塀復旧工					Y4999 (レベル4)

本工事費 内訳書

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ブロック塀 空洞ブロック, 厚み100mm 外壁	15	m ²			W0001
ブロック塀基礎	9	m			V0010 0 単第0-0044 表 050810
地下水位低下工		一式			Y1A011507 (レベル3)
ウエルポイント		日			Y1A01150701 (レベル4)
ウエルポイント工	1	一式			V0600 0 単第0-0045 表 050810
仮水路工		一式			Y1A011508 (レベル3)
暗渠排水管		m			Y1A01150803 (レベル4)
暗渠排水管 据付・撤去 波状管及び網状管 450~600mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径600mm	20	m			SPK22040084 0 A=3, B=2, C=3, D=40, F=1, G=2, I=1 単第0-0051 表 050810
直接工事費					

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
事業損失防止施設費					Z0002
地盤変動影響事業調査					W0001
運搬費	1	一式			8
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 5.4 km 製品長 12m以内					S100007 0 A=5.4, B=1, C=1, D=1, E=14, F=1, H=1, J=1, L=1
現場環境改善費	1	一式			単第0-0052 表 050810
現場環境改善費					Z0012
共通仮設費					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					

本工事費 内訳書

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事原価						
一般管理费率分						
契約保証費						
一般管理費計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費計						

施工単価表

単第0-0001 表

SPK22040002

DID区間有り 距離19.5km以下(14.0km超)

1

m3 当り

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 47.26% 労務構成比: 37.92%

材料構成比: 14.82% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.26%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	37.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=32 距離19.5km以下(14.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

単第0-0002 表

SPK22040015

1

m3 当り

無し 障害無し

標準単価:

0.00%

市場単価構成比:

23.51%

材料構成比:

51.34%

労務構成比:

25.15%

床掘り

土砂 標準

機械構成比:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型] 賃料 山積0.8m3	25.15%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
特殊運転手	51.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	23.51%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

単第0-0003 表

SPK22040020
最大埋戻幅1m以上4m未満

1 m3 当り

埋戻し

機械構成比： 12.40% 労務構成比： 82.89% 材料構成比： 4.71% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	10.62%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
振動ローラ [ハンドガイド式] 賃料 質量0.8~1.1t	1.68%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
タンパ賃料 質量60~80kg	0.10%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	51.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	22.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	8.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	4.61%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン レギュラー スタンド	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

単第0-0004 表

SPK22040020

最大埋戻幅4m以上

1

m3 当り

埋戻し

機械構成比： 16.31% 労務構成比： 77.52% 材料構成比： 6.17% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	14.07%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
振動ローラ [ハンドガイド式] 賃料 質量0.8~1.1t	2.16%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
タンパ賃料 質量60~80kg	0.08%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	39.01%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	26.95%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	11.56%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	6.09%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン レギュラー スタンド	0.08%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

単第0-0005 表

SPK22040007

1

m3 当り

土量50,000m3未満

標準単価:

0.00%

市場単価構成比:

材料構成比: 17.66%

労務構成比: 39.35%

機械構成比: 42.99%

積込(ルーズ)

土砂

土砂

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	42.99%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
特殊運転手	39.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	17.66%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

施工単価表

単第0-0006 表

SPK22040002

DID区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)

1

m3 当り

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 47.26% 労務構成比: 37.92%

材料構成比: 14.82% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.26%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	37.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=10 距離4.0km以下(3.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

単第0-0008 表

1

m3 当り

現場打基礎コンクリート

SPK22040049

18-8-40BB

基礎砕石無し

機械構成比： 2.08%

労務構成比： 70.24%

材料構成比： 27.68%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料 山積0.8m ³	2.08%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m ³ 吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
型わく工	23.72%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	18.12%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	26.59%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

単第0-0009 表

SDT00039

1 m2 当り

コンクリートブロック積工(練積)
滑面ブロック (リサイクル製品)

18-8-40BB

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_ブロック積工【手間のみ】 時間的制約なし	1.000	m2			TDT001609
コンクリート積ブロック 滑面 150kg/個未満 JISタイプ リサイクル製品 鳥取県認定グリーン商品	1.000	m ²			TTM0162
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	0.246	m3			TTPCD0010
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 C=1 18-8-40BB I=1 滑面ブロック (リサイクル製品)			B=2 裏込コンクリートを施工しない場合 E=1 - L=1 時間的制約なし		

施工単価表

単第0-0010 表

SPK22040044

18-8-40BB

1

m3 当り

胴込・裏込コンクリート
間知ブロック・緑化ブロック

機械構成比： 4.00%

労務構成比： 34.04%

材料構成比： 61.96%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料 山積0.8m3	4.00%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	19.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.16%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	3.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	60.79%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.17%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999
A=1 間知ブロック・緑化ブロック D=1 -			B=2 18-8-40BB		

施工単価表

単第0-0011 表

SPK22040045

RC-40

1

m3 当り

胴込・裏込材(砕石)

間知・平・連節・緑化ブロック

機械構成比: 10.16%

労務構成比: 66.13%

材料構成比: 23.71%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1

m3 当り

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料 山積0.8m3	10.16%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	39.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	11.20%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン RC-40	20.40%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	3.31%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 間知・平・連節・緑化ブロック			B=1 RC-40		

施工単価表

単第0-0013 表

SPK22040050

1

m3 当り

天端コンクリート

18-8-40BB

一般養生

機械構成比： 3.08% 労務構成比： 65.97% 材料構成比： 30.95% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料 山積0.8m3	3.08%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
型わく工	21.29%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	15.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	6.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	29.55%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.40%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

単第0-0015 表

1

m3 当り

SPK22040144

バックホウ(クレーン機能付)打設

コンクリート
小型構造物 18-8-40BB

機械構成比: 4.31% 労務構成比: 39.87% 材料構成比: 55.82% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料 山積0.8m3	4.07%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	6.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	53.94%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.78%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

単第0-0015 表

SPK22040144

1

m3 当り

コンクリート
小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

機械構成比: 4.31%

労務構成比:

39.87%

材料構成比: 55.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB J=1 -			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

単第0-0016 表

10 m 当り

小型重力式擁壁

V0005

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
重力式擁壁 擁壁平均高さ1m超2m未満 基礎碎石無し 均しCo無し	5.423	m3			SPK22040062 単第0-0017 表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.754	m3			SPK22040144 単第0-0015 表
型枠 一般型枠 小型構造物	2.000	m2			SPK22040146 単第0-0018 表
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

単第0-0017 表

1 m3 当り

SPK22040062

基礎碎石無し 均しCo無し

材料構成比： 34.72%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

重力式擁壁

擁壁平均高さ1m超2m未満

機械構成比： 1.78%

労務構成比：

63.50%

材料構成比： 34.72%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

1 m3 当り

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m3/h	1.44%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	26.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	17.41%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
土木一般世話役	5.82%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	1.12%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	34.43%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.24%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

単第0-0017 表

SPK22040062

1

m3 当り

重力式擁壁
擁壁平均高さ1m超2m未満
機械構成比： 1.78%

基礎碎石無し 均しCo無し

労務構成比：

63.50%

材料構成比：

34.72%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 擁壁平均高さ1m超2m未満 D=1 基礎碎石無し F=1 一般養生 H=1 -			B=2 18-8-40BB E=1 均しCo無し G=1 圧送管延長距離無し		

施工単価表

単第0-0018 表

SPK22040146

1

m2 当り

小型構造物

型枠

一般型枠

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.15%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.34%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	2	m3			SPK22040144 単第0-0015 表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1	m3			SPK22040144 単第0-0015 表
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

単第0-0020 表

S1040011

100 m2 当り

18-8-20BB

コンクリート打設工
防草コンクリート Co厚さ100mm

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.600	人			RTPC00009
特殊作業員	1.100	人			RTPC00001
普通作業員	1.900	人			RTPC00002
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-20(25) W/C60%以下	12.100	m3			TTPC00003
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付1.7t吊 山積0.28m3 排対1・2・3次	0.890	日			S9035 単第0-0021 表
諸雑費	4.0	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 施工幅 1.0m超2.0m以下 C=1 - F=100 コンクリート厚さ(mm)			B=2 施工高さ -1.0m以上1.0m以下 D=1 18-8-20BB G=1 -		
コンクリート使用量 = 設計量 * (1 + ロス率) = ((100 / 1,000) * 100) * (1 + 0.21) = 12.100(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施工単価表

単第0-0021 表

S9035

1 日 当り

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付1.7t吊 山積0.28m3 排対1・2・3次

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	39.50	L			TTPC00013
バックホウ (排出ガス対策型1次, 2次) [クレーン型] クレーン機能付 1.7 t 吊 山積0.28m3	1.60	供用日			KTPC00019
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=8 C=1 クレーン付1.7t吊 山積0.28m3 排対1・2・3次 運転労務数量(人/日)			B=39.5 D=1.6	軽油消費量(L/日) 機械賃料数量(供用日/日)	

施工単価表

単第0-0024 表

1

m 当り

SPK22040303

コンクリート舗装版厚15cm以下

舗装版切断

コンクリート舗装版

機械構成比： 5.01%

労務構成比： 44.29%

材料構成比： 50.70%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	3.39%		コンクリートカッター バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	15.33%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	6.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッター(ブレード) 径22インチ(550mm)	48.42%		コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン レギュラー スタンド	1.54%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

単第0-0025 表

SPK22040142

1

m3 当り

DID区間無し 運搬距離1.6km以下

殻運搬

Co(無筋)構造物とりこわし

機械構成比: 43.25% 労務構成比: 42.18%

材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=7 運搬距離1.6km以下		

施工単価表

単第0-0026 表

SPK22040142

1

m3 当り

DID区間無し 運搬距離1.6km以下

標準単価:

殻運搬

Co(鉄筋)構造物とりこわし

機械構成比: 43.25% 労務構成比: 42.18%

材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00%

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 E=1 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し -(全ての費用)			B=1 D=7 機械積込 運搬距離1.6km以下		

施工単価表

単第0-0027 表

SPK22040004

施工数量10,000m3未満 障害無し

1

m3 当り

路体(築堤)盛土

施工幅員4.0m以上

機械構成比: 19.93% 労務構成比: 66.76%

材料構成比: 13.31% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地, 7t級 排出ガス対策型(第1, 2次基準値)低騒音	12.24%		<賃>ブルドーザ 湿地, 7t級 排出ガス対策型(第1, 2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t	7.69%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
特殊運転手	45.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	21.44%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	13.31%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量10,000m3未満		

施工単価表

単第0-0028 表

1

m3 当り

SPK22040001

障害無し 5,000m3未満

掘削

土砂 オープンカット 押土無し

機械構成比: 47.36% 労務構成比: 34.34%

材料構成比: 18.30%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	47.36%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
特殊運転手	34.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	18.30%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 D=2 押土無し F=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット E=1 障害無し		

施工単価表

単第0-0029 表

S0283

10 m3 当り

敷砂利
再生砕石を使用する

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
再生クラッシャーラン RC-40	12.000	m3			TTPC00008 10*1.2
普通作業員	1.000	人			RTPC00002
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.8m3 (平積0.6m3) 排出ガス対策型1次基準	2.000	時間			S9006 単第0-0030 表
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 再生クラッシャーラン (RC-40)			B=2	排出ガス対策型1次基準	

施工単価表

単第0-0030 表

1 時間 当り

機-1_バックホウ運転

S9006

クローラ[標準]山積0.8m3 (平積0.6m3)

排出ガス対策型1次基準

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊運転手	0.16	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	16.00	L			TTPC00013
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.8/平積0.6m3	1	時間			MTPC00012
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	時間			
A=4 クローラ[標準]山積0.8m3 (平積0.6m3) C=0 労務単価の夜間等割増率 E=0 運転労務数量 (人/h) 標準=省略			B=1 岩石工損料割増 無し D=2 排出ガス対策型1次基準 F=0 燃料消費量 (L/h) 標準=省略		
運転日当運転時間 T = 690 (③欄) / 110 (④欄) = 6.3 運転労務歩掛 1 / T = 1 / 6.3 = 0.16 燃料消費量 (時間当り) = 104.000 (kW) × 0.153 (燃料消費率) = 16.000 (L/時間)					

施工単価表

単第0-0031 表

S1050041

100 m2 当り

敷鉄板設置

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.152	人			RTPC00009
とび工	0.152	人			RTPC00004
普通作業員	0.152	人			RTPC00002
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊 山積0.8m3 排対3次	0.152	日			S9035 単第0-0032 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
土木一般世話役 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
とび工 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
普通作業員 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
バックホウ(クローラ型)運転 = 100 / D = 100 / 656 = 0.152(日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施工単価表

単第0-0032 表

S9035

1 日 当り

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3 排対3次

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	112.00	L			TTPC00013
バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料 山積0.8m3	1.06	供用日			KTPC00006
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=19 クレーン付2.9t吊 山積0.8m3 排対3次 C=1 運転労務数量(人/日)			B=112 軽油消費量(L/日) D=1.06 機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

単第0-0033 表

S1050043

100 m2 当り

敷鉄板撤去

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.143	人			RTPC00009
とび工	0.143	人			RTPC00004
普通作業員	0.143	人			RTPC00002
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊 山積0.8m3 排対3次	0.143	日			S9035 単第0-0032 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
土木一般世話役 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
とび工 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
普通作業員 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
バックホウ(クローラ型)運転 = 100 / D = 100 / 701 = 0.143(日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施工単価表

単第0-0034 表

1 枚 当り

敷鉄板賃料
22×1524×3048, 802kg/枚

S1050029

賃貸期間 48日

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)鉄板 22×1524×3048, 802kg/枚 90日以内	48.000	枚・日			K0100065
(賃料)鉄板 22×1524×3048, 802kg/枚 整備費	1.000	枚			K0100073
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=3 C=48 22×1524×3048, 802kg/枚 敷鉄板賃貸期間 (日)			B=1 D=2	賃料 整備費有り	

施工単価表

単第0-0035 表

10 枚 当り

鋼矢板圧入 (Nmax ≤ 50)

S0450

Nmax ≤ 25で杭打ち用WJ使用 陸上施工 3型 圧入長(m) 9以下(6超)

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.455	人			RTPC00009
特殊作業員	0.455	人			RTPC00001
とび工	0.909	人			RTPC00004
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力1,000kN 排出ガス対策型2次基準	0.455	日			S9128 単第0-0036 表 10/22
機-24_杭打ち用ウォータージェット運転 エンジン式14.7MPa (150kg/cm2)	0.455	日			S9151 単第0-0037 表 10/22
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	0.455	日			S9000053 単第0-0038 表 10/22
諸雑費	8	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 陸上施工 C=2 3型			B=2 D=2	Nmax ≤ 25で杭打ち用WJ使用 圧入長(m)_9以下(6超)	
土木一般世話役 = 10 / N * 1 = 10 / 22.0 * 1 = 0.455(人)		小数第4位四捨五入小数第3位止め			
特殊作業員 = 10 / N * 1 = 10 / 22.0 * 1 = 0.455(人)		小数第4位四捨五入小数第3位止め			
とび工 = 10 / N * 2 = 10 / 22.0 * 2 = 0.909(人)		小数第4位四捨五入小数第3位止め			

施工単価表

単第0-0036 表

1 日 当り

機-24_油圧式杭圧入引抜機運転
圧入力1,000kN

S9128
排出ガス対策型2次基準

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	202.00	L			TTPC00013
油圧式杭圧入引抜機 エンジン式ユニット・排2 圧入1000引抜1100kN	1.45	供用日15欄			M1050285
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 圧入力1,000kN C=1.45 機械損料数量 (供用日/日)			B=202	軽油消費量 (L/日)	

施工単価表

単第0-0037 表

S9151

1 日 当り

機-24_杭打用ウォータージェット運転
エンジン式14.7MPa (150kg/cm²)

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	120.00	L			TTPC00013
杭打ち用ウォータージェット エンジン式・排1 圧力14.7MPa吐出量325L/min	1.45	供用日15欄			M0628
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=120 軽油消費量 (L/日)			B=1.45	機械損料数量 (供用日/日)	

施工単価表

単第0-0038 表

1 日 当り

S9000053

排出ガス対策型2次基準

機-18_ラフテレーンクレーン運転
25t吊

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	107.00	L			TTPC00013
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排2 25t吊	1.45	供用日15欄			M1040173
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 25t吊 C=1 運転労務数量(人/日) E=1.45 機械損料数量(供用日/日)			B=3 排出ガス対策型2次基準 D=107 燃料消費量(L/日)		

施工単価表

単第0-0040 表

S0458

1 回 当り

油圧式杭圧入引抜機据付・解体
圧入 (Nmax≤50)

III型

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.500	人			RTPC00009
特殊作業員	0.500	人			RTPC00001
とび工	1.000	人			RTPC00004
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力1,000kN 排出ガス対策型2次基準	0.290	日			S9128 単第0-0036 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	0.450	日			S9000053 単第0-0038 表
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	回			
A=2 圧入 (Nmax≤50) C=1 陸上施工			B=2 III型		

施工単価表

S0180

単第0-0041 表

1

箇所 当り

ガス切断
鋼矢板

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
溶接工	0.130	人			RTPC00019 9
普通作業員	0.040	人			RTPC00002 9
酸素ガス ポンベ	0.630	m 3			T0831
アセチレンガス ポンベ	0.260	k g			T0832
諸雑費	0.1	%			#09
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 鋼矢板					

施工単価表

単第0-0042 表

1

回 当り

SPK22040408

片道運搬距離2.0km以下

標準単価:

現場発生品・支給品運搬

クレーン装置付BT2t積2t吊

機械構成比: 12.75% 労務構成比: 82.40%

材料構成比: 4.85%

市場単価構成比: 0.00%

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.0t	12.75%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.0t		MTPC00020 MTPT00020
特殊運転手	42.01%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	40.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	4.85%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t積2t吊 C=7 1回当り平均積載質量1.1t超1.5t以下			B=1 片道運搬距離2.0km以下		

施工単価表

単第0-0043 表

S1012

10 m2 当り

土のう拵え, 積立, 撤去工
小口並べ

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
流用土	3.400	m3			F000000001 安倍残土処分場より
土のう 48×62cm	170.000	枚			T0802 化学繊維袋
普通作業員	7.140	人			RTPC00002
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 小口並べ C=1 【F】土砂(m3)			B=1	土のう拵え, 積立, 撤去	
小口並べ 17袋/m ² 普通作業員 = 0.042 * 17 * 10 = 7.140 (人) 土砂 = 17 * 0.02 (m3/袋) * 10 = 3.400 (m3)					

施工単価表

単第0-0045 表

V0600

1 式 当り

ウエルポイント工

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ウエルポイント設置・撤去	7	本			V0610 単第0-0046 表
ウエルポイントポンプ設置・撤去	1	組			V0620 単第0-0047 表
ウエルポイントポンプ運転管理	13	日			V0630 単第0-0048 表
ウエルポイント工損料	1	一式			V0640 単第0-0049 表
発動発電機運転 ディーゼル 20/25kVA 排出ガス対策型1次基準	13	日			S9470 単第0-0050 表
*** 単位当たり ***	1	一式			

施工単価表

単第0-0046 表

V0610

100 本 当り

ウエルポイント設置・撤去

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.7	人			RTPC00009 1
特殊作業員	7.5	人			RTPC00001 1
普通作業員	7.5	人			RTPC00002 1
諸雑費率	32	%			#01 設置
土木一般世話役	1.8	人			RTPC00009 2
特殊作業員	5.0	人			RTPC00001 2
普通作業員	7.6	人			RTPC00002 2
雑材料	36	%			#02 撤去
*** 合計 ***	100	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施工単価表

単第0-0047 表

1 組 当り

ウエルポイントポンプ設置・撤去

V0620

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.3	人			RTPC00009 1
特殊作業員	0.9	人			RTPC00001 1
普通作業員	1.2	人			RTPC00002 1
諸雑費率	36	%			#01
土木一般世話役	0.1	人			RTPC00009 2
特殊作業員	0.6	人			RTPC00001 2
普通作業員	0.8	人			RTPC00002 2
雑材料	26	%			#02
*** 単位当たり ***	1	組			

施工単価表

単第0-0049 表

1 式 当り

ウエルポイント工損料

V0640

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ウエルポイントポンプ損料 供用1日当り	13	供用日			W0001
ウエルポイント損料 供用1日当り 20m/10本, L=4.3m	13	供用日			W0001
ヘッダーライン損料 供用1日当り	13	供用日			W0001
ジェット装置損料 供用1日当り	13	供用日			W0001
諸雑費	1	一式			#99
*** 単位当たり ***	1	一式			

施工単価表

単第0-0050 表

1 日 当り

発動発電機運転

S9470

ディーゼル 20/25kVA

排出ガス対策型1次基準

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	79.20	L			TTPC00013 3.3*24
発動発電機 ディーゼルエンジン駆動・排1 定格容量(50/60Hz)20/25kVA	1	日			MJ081
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=7 ディーゼル 20/25kVA C=2 排出ガス対策型1次基準			B=24	運転日当り運転時間 (T)	
燃料消費量 (時間当り) = 23.000 (kW) × 0.145 (燃料消費率) = 3.300 (L/時間) 供用日当り運転日数 T2 = 110 / 130 = 0.85 発動発電機損料 P = 1,020 * 200 / 100 + 1,420 / 0.850 = 3,710 (円/日)					

施工単価表

単第0-0051 表

1

m 当り

SPK22040084

シングル 合成樹脂排水材 呼び径600mm

暗渠排水管

据付・撤去 波状管及び網状管 450～600mm

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 6.04%

材料構成比： 93.96%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	4.34%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.70%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
暗渠排水管(波状管) 呼び径600mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造) 建設物価2023年8月P388	93.96%		暗渠排水管 波状管 呼び径500mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPCD0276 TTPT00192
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=3 450～600mm F=1 継手材料費要 I=1 -(全ての費用)			B=2 波状管及び網状管 D=40 シングル 合成樹脂排水材 呼び径600mm G=2 期間1ヶ月未満(損料率0.3)		

施工単価表

単第0-0052 表

1 式 当り

仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 S1000007
 運搬距離 5.4 km 製品長 12m以内

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 5.4 km 製品長 12m以内 運搬質量 14t	1.000	一式			S1000009 単第0-0053 表
往復					+00
積込み, 取卸しに要する費用	1.000	一式			S1000009 単第0-0054 表
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=5.4 運搬距離(km) C=1 - E=14 運搬質量(t)			B=1 12m以内 D=1 - F=1 -		
H=1 - L=1 基地積込み・取卸し, 現場積込み・取卸し			J=1 -		

施工単価表

単第0-0054 表

1 式 当り

S1000009

積み込み, 取卸しに要する費用

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積み込み費 (基地)	14.000	t			KR00E006
仮設材取卸し費 (現場)	14.000	t			KR00E009
仮設材積み込み費 (現場)	14.000	t			KR00E008
仮設材取卸し費 (基地)	14.000	t			KR00E007
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=5 K=1 積み込み, 取卸しに要する費用 基地積み込み・取卸し, 現場積み込み・取卸し			D=14	運搬質量(t)	

数量集計表

設計書名：四軒屋川

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
河川土工				式	1	
	残土処理工			式	1	
		土砂等運搬	土砂	m3	299	
		残土等処分		m3	299	
法覆護岸工				式	1	
	作業土工			式	1	
		床掘り	土砂	m3	132.8	
		埋戻し	土砂, 流用土	m3	59.8	
		置換え	土砂, 流用土	m3	59.0	安倍残土置き場より
		積込 (ルーズ)	土砂	m3	59.0	安倍残土置き場より
		土砂等運搬	土砂	m3	59.0	安倍残土置き場より
	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積)			式	1	
		コンクリートブロック積	控え35cm, 裏コンなし	m2	50.0	
		胴込コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	11.0	
		裏込砕石	RC-40	m3	22.9	
		基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m	33.0	
		天端コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m	33.0	
	張りコンクリート工			式	1	
		1号底張コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m2	31.7	

数量集計表

設計書名：四軒屋川

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
擁壁護岸工				式	1	
	場所打擁壁工(構造物単位)			式	1	
		小型重力式擁壁	平均H=1.27m, $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m	3.9	
	張りコンクリート工			式	1	
		2号底張コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ²	2.3	
付帯工				式	1	
	張りコンクリート工			式	1	
		張りコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$, t=10cm	m ²	16.7	
構造物撤去工				式	1	
	構造物取壊し工			式	1	
		コンクリート構造物取壊し	無筋構造物, 機械施工	m ³	34.1	
		コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物, 機械施工	m ³	0.2	
		舗装版切断	Co舗装版, t=15cm以下	m	3.1	
	運搬処理工			式	1	
		殻運搬	無筋コンクリート構造物取壊し, 機械施工	m ³	34.1	
		殻運搬	鉄筋コンクリート構造物取壊し, 機械施工	m ³	0.2	
		殻処分	コンクリート殻(無筋)	t	80.1	
		殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	t	0.5	

数量集計表

設計書名：四軒屋川

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
仮設工				式	1	
	工事用道路工			式	1	
		工事用道路盛土	路体盛土, B \geq 4.0, 流用土	m ³	211.4	
		積込 (ルーズ)	土砂	m ³	211.4	安倍残土置き場より
		土砂等運搬	土砂	m ³	211.4	安倍残土置き場より
		工事用道路盛土撤去	掘削	m ³	211.4	
		敷砂利	RC-40, t=10cm	m ²	208.0	
		敷砂利撤去	掘削	m ³	20.8	
		敷鉄板	設置・撤去	m ²	81.0	
		敷鉄板	賃料, 22 \times 1524 \times 3048	枚	18.0	
		残土処理工	土砂等運搬 (土砂)	m ³	232.9	河川土工にて計上
		残土処理工	残土等処分	m ³	232.9	河川土工にて計上
	土留・仮締切工			式	1	
		床掘り	土砂	m ³	8.5	
		埋戻し	土砂, 流用土	m ³	7.3	
		鋼矢板	打込, III型, 油圧圧入引抜工法, 打込長9m以下, 継手数1箇所	枚	75.0	N _{max} \leq 25, ウォーターゼット併用
		鋼矢板	購入材, III型, 上杭 L=4.50m	枚	75.0	
		鋼矢板	購入材, III型, 下杭 L=4.00m	枚	75.0	

数量集計表

設計書名：四軒屋川

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
		鋼矢板	油圧圧入引抜機, 据付・解体	回	2.0	
		鋼矢板	ガス切断, III型	箇所	75.0	
		鋼矢板撤去	切断上部, III型	枚	75.0	
		鋼矢板	現場発生品運搬	t	2.7	
		鋼矢板	産業廃棄物処理 (鉄くず)	t	2.7	
		土のう積	小口並べ, 土のう拵え・積立・撤去, 流用土	m ²	0.9	
	ブロック塀復旧工			式	1	
		ブロック塀	空洞ブロック, 厚み100mm, 外壁	m ²	15.2	
		ブロック塀基礎	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m	9.4	
	地下水水位低下工			式	1	
		ウエルポイント	設置・撤去	本	7	
		ウエルポイントポンプ	設置・撤去	組	1	
		ウエルポイントポンプ	運転管理	日	13	
		ウエルポイント工損料		式	1	
		ジェット装置損料		式	1	
	仮水路工			式	1	
		仮排水管	据付・撤去, 高密度ポリエチレン管 $\phi 600$	m	20.0	

一般計算書

種 別：残土処理工
 ブロック：残土処理工
 区 分：

細別／規格	算 式 / 図	数 量
土砂等運搬 土砂	発生土 法覆護岸工-床掘り $V=132.8\text{m}^3$ 流用土 法覆護岸工-埋戻し $V=59.8\text{m}^3$ 残土 $V=132.8-59.8/0.9=66.4\text{m}^3$ 工事用道路工発生土 $V=232.9\text{m}^3$ 合計 $V=66.4+232.9=299.3\text{m}^3$	299.3 m ³
残土等処分		299.3 m ³

工種数量総括表

設計書名：四軒屋川

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
法覆護岸工				式	1	
	作業土工			式	1	
		床掘り	土砂	m3	132.8	
		埋戻し	土砂, 流用土	m3	59.8	
		置換え	土砂, 流用土	m3	59.0	安倍残土置き場より
		積込 (ルーズ)	土砂	m3	59.0	
		土砂等運搬	土砂	m3	59.0	
	コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)			式	1	
		コンクリートブロック積	控え35cm, 裏コンなし	m2	50.0	
		胴込コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m3	11.0	
		裏込砕石	RC-40	m3	22.9	
		基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m	33.0	
		天端コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m	33.0	
	張りコンクリート工			式	1	
		1号底張コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m2	31.7	

平均断面体積計算表

種 別：作業土工
 ブロック：作業土工
 区 分：
 細 別：
 規 格：

測 点	距 離(m)	床掘り			埋戻し			置換え			摘 要
		断面積(m ²)	平均断面積(m ²)	体 積(m ³)	断面積(m ²)	平均断面積(m ²)	体 積(m ³)	断面積(m ²)	平均断面積(m ²)	体 積(m ³)	
NO.0	—	8.3	—	—	2.1	—	—	4.0	—	—	
NO.0+6.4	6.4	8.3	8.30	53.1	2.1	2.10	13.4	4.0	4.00	25.6	NO.0と同断面
〃	0.0	8.9	—	—	4.4	—	—	3.2	—	—	NO.0+6.9と同断面
NO.0+6.9	0.5	8.9	8.90	4.5	4.4	4.40	2.2	3.2	3.20	1.6	
NO.0+10.3	3.4	8.9	8.90	30.3	4.4	4.40	15.0	3.2	3.20	10.9	NO.0+6.9と同断面
〃	0.0	4.6	—	—	3.6	—	—	2.7	—	—	NO.0+13.0と同断面
NO.0+13.0	2.7	4.6	4.60	12.4	3.6	3.60	9.7	2.7	2.70	7.3	
NO.0+16.4	3.4	5.7	5.15	17.5	3.3	3.45	11.7	2.4	2.55	8.7	
〃	0.0	8.2	—	—	3.9	—	—	2.4	—	—	上流側
NO.0+18.4	2.0	6.8	7.50	15.0	3.9	3.90	7.8	2.5	2.45	4.9	
小 計	18.4			132.8			59.8			59.0	
合 計	18.4			132.8			59.8			59.0	

コンクリートブロック積面積計算表

種 別：コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)

ブロック：コンクリートブロック工

区 分：

細 別：コンクリートブロック積

規 格：控え35cm,裏コンなし

測 点	距 離(m)	コンクリートブロック積			摘 要
		SL(m)	平均SL(m)	面 積(m ²)	
左岸	—				
		1.89	—	—	
NO.0+6.9	6.92	1.57	1.73	12.0	
NO.0+13.0	6.12	1.31	1.44	8.8	
NO.0+16.4	3.41	1.16	1.24	4.2	
	0.06	1.16	1.16	0.1	
小 計	16.51			25.1	
右岸					
NO.0		1.86	—	—	
NO.0+6.9	6.84	1.57	1.72	11.8	
NO.0+13.0	6.11	1.31	1.44	8.8	
NO.0+16.4	3.41	1.16	1.24	4.2	
	0.10	1.16	1.16	0.1	
小 計	16.46			24.9	
※延長、SLは展開図より					
合 計	32.97			50.0	

平均断面体積計算表

種 別：コンクリートブロック工(コンクリートブロック積)

ブ ロ ッ ク：コンクリートブロック工

区 分：

細 別：裏込砕石

規 格：RC-40

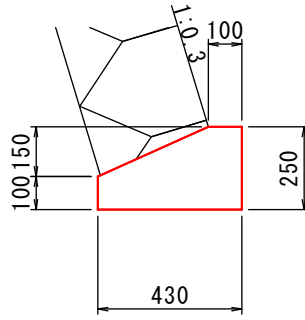
測 点	距 離(m)	裏込砕石			摘 要
		断面積(m ²)	平均断面積(m ²)	体 積(m ³)	
左岸	—				
		0.9	—	—	
NO.0+6.9	6.92	0.7	0.80	5.5	
NO.0+13.0	6.12	0.6	0.65	4.0	
NO.0+16.4	3.41	0.5	0.55	1.9	
	0.06	0.5	0.50	0.0	
小 計	16.51			11.4	
右岸					
NO.0		0.9	—	—	
NO.0+6.9	6.84	0.7	0.80	5.5	
NO.0+13.0	6.11	0.6	0.65	4.0	
NO.0+16.4	3.41	0.5	0.55	1.9	
	0.10	0.5	0.50	0.1	
小 計	16.46			11.5	
※断面積はCAD求積による					
合 計	32.97			22.9	

単位数計算書

細別：基礎コンクリート
規 格： $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

10 m当り

略 図



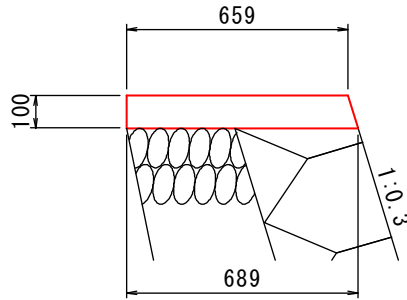
材 料 / 規 格	算 式	数 量
コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$\{(0.100 + 0.430) \times 0.150 \times 1/2 + 0.430 \times 0.100\} \times 10.0$	0.828 m ³
型枠 小型構造物	$(0.100 + 0.250) \times 10.0$	3.500 m ²

単位数計算書

細別：天端コンクリート
規 格： $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

10 m当り

略 図



材料/規格	算 式	数 量
コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$(0.659 + 0.689) \times 0.100 \times 1/2 \times 10.0$	0.674 m ³
型枠 小型構造物	$(0.100 + 0.100 \times 1.044) \times 10.0$	2.044 m ²

平均断面体積計算表

種 別：底張りコンクリート工
 ブロック：1号底張りコンクリート工
 区 分：
 細 別：
 規 格：

測 点	距 離(m)	底張りコンクリート			均しコンクリート						摘 要
		幅(m)	平均幅(m)	面 積(m2)	幅(m)	平均幅(m)	面 積(m2)				
NO. 0	—	2.84	—	—	2.50	—	—				
NO. 0+6.9	6.9	2.10	2.47	17.0	1.78	2.14	14.8				
NO. 0+13.0	6.1	1.39	1.75	10.7	1.07	1.43	8.7				
NO. 0+16.4	3.4	0.98	1.19	4.0	0.66	0.87	3.0				
小 計	16.4			31.7			26.5				
合 計	16.4			31.7			26.5				

一般計算書

種 別：場所打擁壁工(構造物単位)
 ブロック：場所打擁壁工
 区 分：

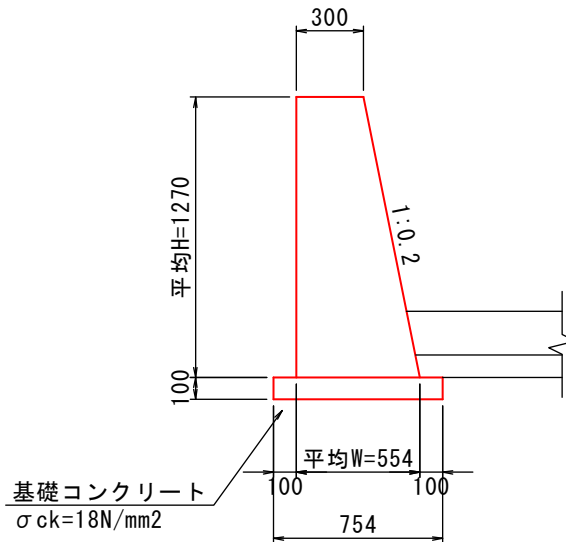
細別／規格	算 式 / 図	数 量
小型重力式擁壁 平均H=1.27m, σ_{ck} =18N/mm ²	左岸 右岸 $L=1.9+2.0=3.9m$	3.9 m ³

単位数量計算書

細 別：小型重力式擁壁
 規 格：平均H=1.27m, $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

10 m当り

略 図



材料/規格	算 式	数 量
コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$(0.300 + 0.554) \times 1.270 \times 1/2 \times 10.0$	5.423 m ³
型枠 小型構造物	$(1.270 + 1.270 \times 1.020) \times 10.0$	25.654 m ²
基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.754 \times 0.100 \times 10.0$	0.754 m ³
同上型枠 小型構造物	$(0.100 + 0.100) \times 10.0$	2.000 m ²

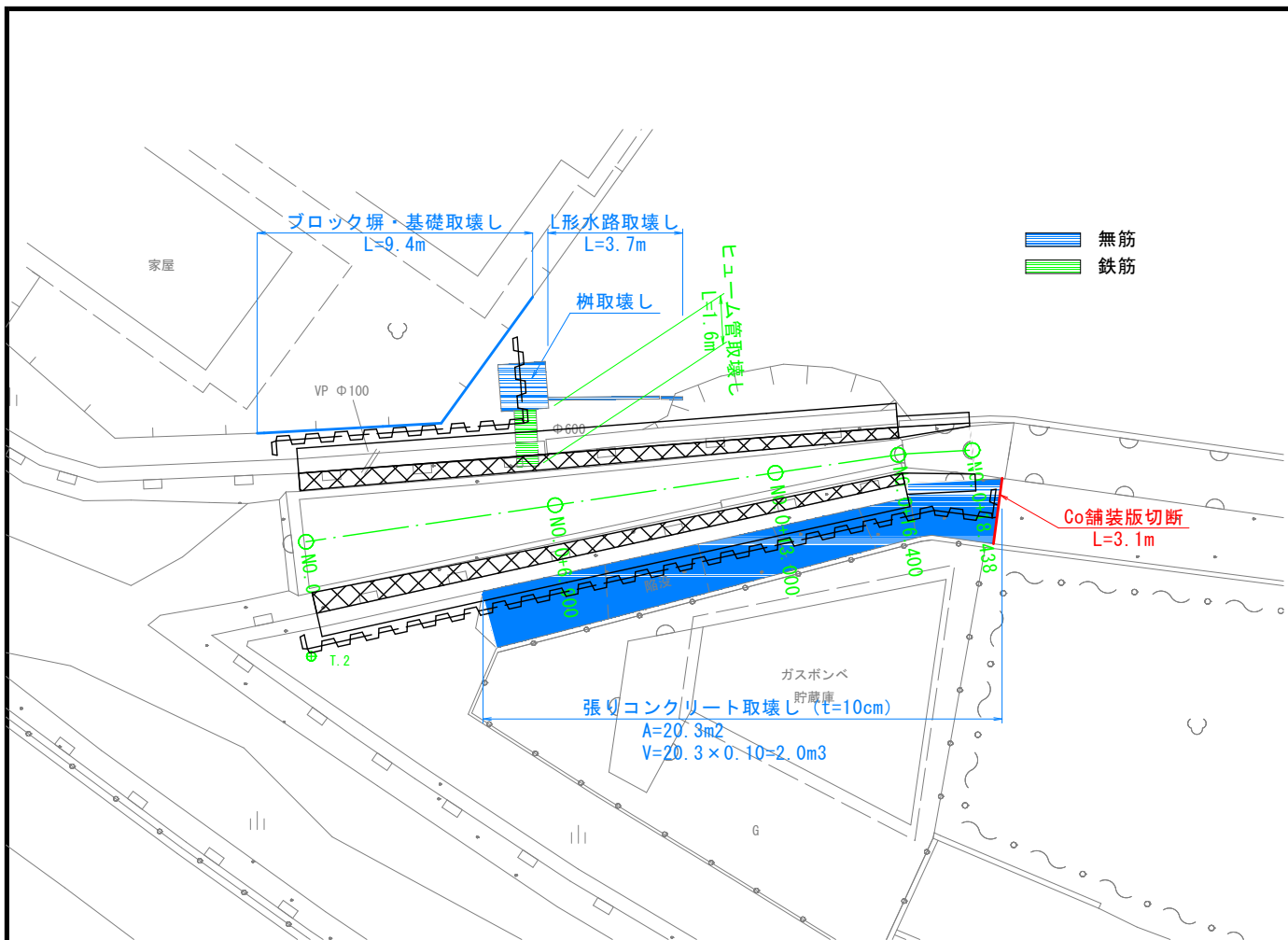
平均断面体積計算表

種 別：底張りコンクリート工
 ブロック：2号底張りコンクリート工
 区 分：
 細 別：
 規 格：

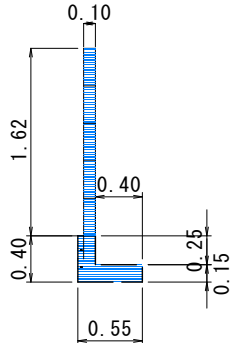
測 点	距 離(m)	底張りコンクリート			均しコンクリート						摘 要
		幅(m)	平均幅(m)	面 積(m2)	幅(m)	平均幅(m)	面 積(m2)				
NO. 0+16.4	—	0.98	—	—	0.86	—	—				
NO. 0+18.4	2.0	1.28	1.13	2.3	1.20	1.03	2.1				
小 計	2.0			2.3			2.1				
合 計	2.0			2.3			2.1				

撤去工根拠図

工 種：構造物撤去工

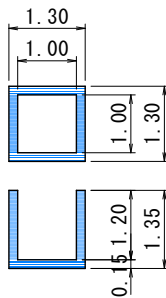


ブロック塀基礎取壊し



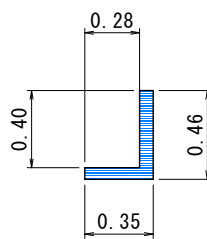
ブロック塀
V=(1.62×0.10)×9.4
=1.5m³
基礎
V=(0.55×0.40-0.40×0.25)×9.4
=1.1m³

樹取壊し



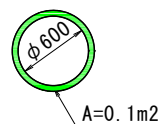
V=1.30×1.30×1.35-1.00×1.00×1.20
=1.1m³

L形水路取壊し



V=(0.35×0.46-0.28×0.40)×3.7
=0.2m³

ヒューム管取壊し



V=0.1×1.6=0.2m³

コンクリート構造物取壊し (無筋)
ΣV=1.5+1.1+1.1+0.2=3.9m³

コンクリート構造物取壊し (鉄筋)
V=0.2m³

工種数量総括表

設計書名：四軒屋川

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
仮設工				式	1	
	工事用道路工			式	1	
		工事用道路盛土	路体盛土, B \geq 4.0, 購入土	m ³	211.4	
		積込 (ルーズ)	土砂	m ³	211.4	
		土砂等運搬	土砂	m ³	211.4	
		工事用道路盛土撤去	掘削	m ³	211.4	
		敷砂利	RC-40, t=10cm	m ²	208.0	
		敷砂利撤去	掘削	m ³	20.8	
		敷鉄板	設置・撤去	m ²	81.0	
		敷鉄板	賃料, 22 \times 1524 \times 3048	枚	18.0	
		残土処理工	土砂等運搬 (土砂)	m ³	232.9	
		残土処理工	残土等処分	m ³	232.9	
	土留・仮締切工			式	1	
		床掘り	土砂	m ³	8.5	
		埋戻し	土砂, 流用土	m ³	7.3	
		鋼矢板	打込, III型, 油圧圧入引抜工法, 打込長9m以下, 継手数1箇所	枚	75	N _{max} \leq 25, ウォーターシット併用
		鋼矢板	購入材, III型, 上杭 L=4.50m	枚	75	
		鋼矢板	購入材, III型, 下杭 L=4.00m	枚	75	
		鋼矢板	油圧圧入引抜機, 据付・解体	回	2	

工種数量総括表

設計書名：四軒屋川

工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
	土留・仮締切工	鋼矢板	ガス切断, III型	箇所	75	
		鋼矢板撤去	切断上部, III型	枚	75	
		鋼矢板	現場発生品運搬	t	2.7	
		鋼矢板	産業廃棄物処理 (鉄くず)	t	2.7	
		土のう積	小口並べ, 土のう拵え・積立・撤去, 流用土	m ²	0.9	
	ブロック塀復旧工			式	1	
		ブロック塀工	空洞ブロック, 厚み100mm, 外壁	m ²	15	
		ブロック塀基礎	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m	9	
	地下水位低下工			式	1	
		ウエルポイント	設置・撤去	本	7	
		ウエルポイントポンプ	設置・撤去	組	1	
		ウエルポイントポンプ	運転管理	日	13	
		ウエルポイント工損料		式	1	
		ジェット装置損料		式	1	
	仮水路工			式	1	
		仮排水管	据付・撤去, 高密度ポリエチレン管 $\phi 600$	m	20.0	

数量集計表

種 別：工事用道路工
規 格：

細 別	規 格	単 位	工事用道路工		合 計	摘 要
工事用道路盛土	路体盛土, B \geq 4.0, 流用土	m3	211.4		211.4	
積込 (ルーズ)	土砂	m3	211.4		211.4	
土砂等運搬	土砂	m3	211.4		211.4	
工事用道路盛土撤去	掘削	m3	211.4		211.4	
敷砂利	RC-40, t=10cm	m2	208.0		208.0	
敷砂利撤去	掘削	m3	20.8		20.8	
敷鉄板	設置・撤去	m2	81.0		81.0	
	賃料, 22 \times 1524 \times 3048	枚	18.0		18.0	
残土処理工	土砂等運搬 (土砂)	m3	232.9		232.9	河川土工にて計上
	残土等処分	m3	232.9		232.9	河川土工にて計上

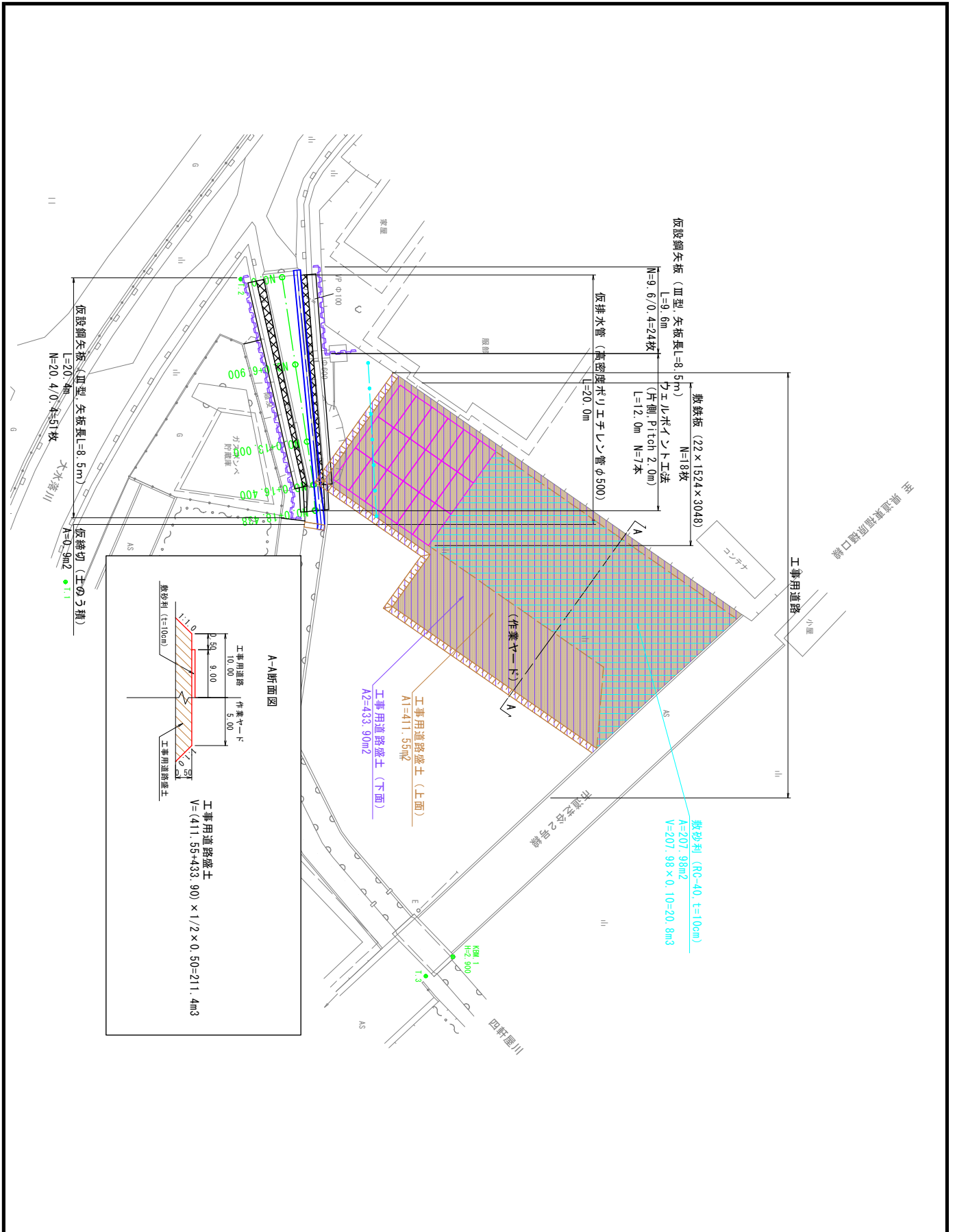
一般計算書

種 別：工事用道路工
 ブロック：工事用道路工
 区 分：

細別／規格	算 式 / 図	数 量
工事用道路盛土	仮設工根拠図より	
路体盛土, B \geq 4.0, 流用土		211.4 m ³
工事用道路盛土		
積込 (ルーズ) 土砂		211.4 m ³
工事用道路盛土		
土砂等運搬 土砂		211.4 m ³
工事用道路盛土撤去		
掘削		211.4 m ³
敷砂利	仮設工根拠図より	
RC-40, t=10cm		208.0 m ²
敷砂利撤去	仮設工根拠図より	
掘削		20.8 m ³
敷鉄板	N=18枚 3.0 \times 1.5 \times 18=81.00m ²	
設置・撤去		81.0 m ²
敷鉄板		
賃料, 22 \times 1524 \times 3 048		18.0 枚
残土処理工	発生土 土留・仮締切工-床掘り V=8.5m ³	
土砂等運搬 土砂	流用土 土留・仮締切工-埋戻し V=7.3m ³	
	処分 工事用道路盛土撤去 V1=211.4m ³ 敷砂利撤去 V2=20.8m ³ 土のう積 中詰土 0.02m ³ /袋 V3=0.02 \times 17=0.34m ³ /m ² 17袋/m ² 0.34 \times 0.9m ² =0.31m ³	
	残土 V=8.5-7.3/0.9+211.4+20.8+0.31=232.90m ³	232.9 m ³
残土処理工		
残土等処分		232.9 m ³

仮設工根拠図

工 種：仮設工



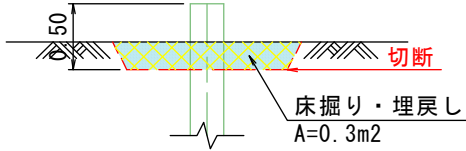
数量集計表

種 別：土留・仮締切工
規 格：

細 別	規 格	単 位	土留・仮締切工	合 計	摘 要
床掘り	土砂	m3	8.5	8.5	
埋戻し	土砂, 流用土	m3	7.3	7.3	
鋼矢板	打込, III型, 油圧圧入引抜工 法, 打込長9m以下, 継手数1 箇所	枚	75	75	
	購入材, III型, 上杭 L=4.50m	枚	75	75	
	購入材, III型, 下杭 L=4.00m	枚	75	75	
	油圧圧入引抜機, 据付・解 体	回	2	2	
	ガス切断, III型	箇所	75	75	
鋼矢板撤去	切断上部, III型	枚	75	75	
鋼矢板	現場発生品運搬	t	2.7	2.7	
	産業廃棄物処理 (鉄くず)	t	2.7	2.7	
土のう積	小口並べ, 土のう拵え・積 立・撤去, 流用土	m2	0.9	0.9	

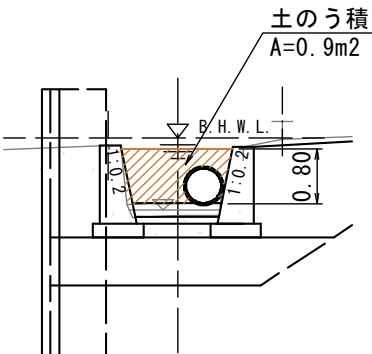
一般計算書

種 別：土留・仮締切工
 ブロック：土留・仮締切工
 区 分：

細別／規格	算 式 / 図	数 量
床掘り 土砂	<p>断面図 NO. 0+6.38付近</p>  <p>※平均断面体積計算表 NO. 0+6.38断面積</p>	
	平均断面体積計算表より	8.5 m3
埋戻し 土砂, 流用土	平均断面体積計算表より	7.3 m3
鋼矢板 打込, III型, 油圧圧入引抜工法, 打込長9m以下, 継手数1箇所	左岸 右岸 51 + 24 =75枚	75 枚
鋼矢板 購入材, III型, 上杭 L=4.50m		75 枚
鋼矢板 購入材, III型, 下杭 L=4.00m		75 枚
鋼矢板	※左岸で1回、右岸で1回とする。	
油圧圧入引抜機, 据付・解体		2 回
鋼矢板 ガス切断, III型		75 箇所
鋼矢板撤去 切断上部, III型		75 枚

一般計算書

種 別：土留・仮締切工
 ブロック：土留・仮締切工
 区 分：

細別／規格	算 式 / 図	数 量
鋼矢板 現場発生品運搬	展開図より ■切断長 L=0.50m 鋼矢板 N1=24枚 (左岸) 鋼矢板 N2=24枚 (右岸) $W1=0.06\text{t/m} \times 0.50 \times (24+24)=1.44\text{t}$ ■切断長 $L=(0.50+0.69+0.80+0.97+0.97)/5=0.79\text{m}$ (平均) 鋼矢板 N=27枚 (左岸) $W2=0.06\text{t/m} \times 0.79 \times 27=1.28\text{t}$ $\Sigma W=1.44+1.28=2.72\text{t}$	2.7 t
鋼矢板 産業廃棄物処理 (鉄くず) 土のう積	<div style="text-align: center;"> 断面図 EP付近 </div> 	2.7 t
小口並べ, 土のう 拵え・積立・撤去, 購入土	(This cell is empty, as the diagram and calculations are shared with the previous row)	0.9 m2

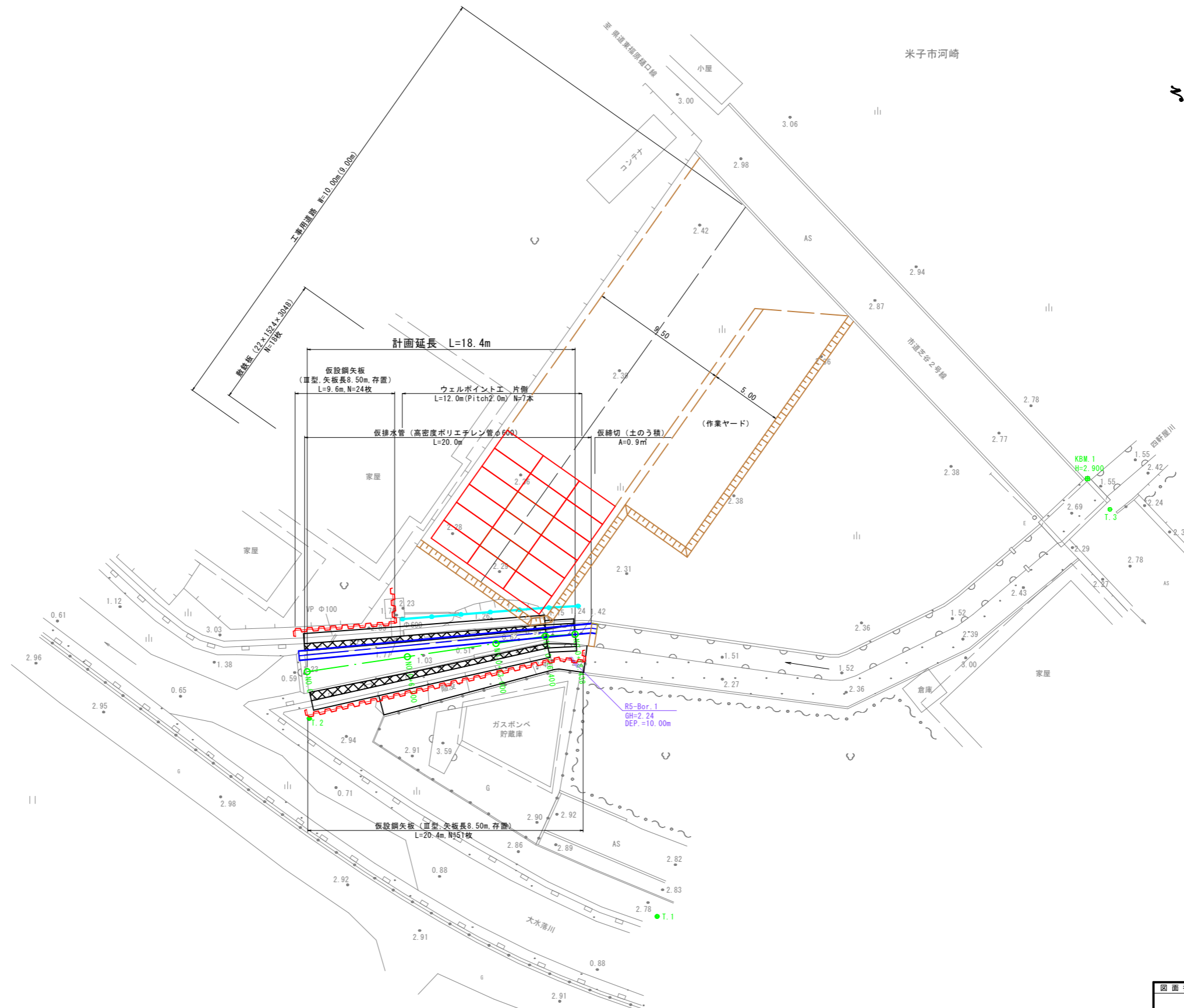
平均断面体積計算表

種 別：土留・仮締切工
 ブロック：土留・仮締切工
 区 分：
 細 別：
 規 格：

測 点	距 離(m)	床掘り			埋戻し			摘 要
		断面積(m ²)	平均断面積(m ²)	体 積(m ³)	断面積(m ²)	平均断面積(m ²)	体 積(m ³)	
左岸	—							
NO. 0-0.43		0.7	—	—	0.5	—	—	NO. 0と同断面
NO. 0-0.40	0.40	0.7	0.70	0.3	0.5	0.50	0.2	NO. 0と同断面
NO. 0	0.40	0.7	0.70	0.3	0.5	0.50	0.2	
NO. 0+6.9	6.92	0.1	0.40	2.8	0.1	0.30	2.1	
NO. 0+13.0	6.11	0.0	0.05	0.3	0.0	0.05	0.3	
小 計	13.83			3.7			2.8	
右岸								
NO. 0-0.43		0.8	—	—	0.7	—	—	NO. 0と同断面
NO. 0-0.40	0.40	0.8	0.80	0.3	0.7	0.70	0.3	
NO. 0	0.40	0.8	0.80	0.3	0.7	0.70	0.3	
NO. 0+6.38	6.40	0.3	0.55	3.5	0.3	0.50	3.2	断面図より
NO. 0+6.56	2.40	0.3	0.30	0.7	0.3	0.30	0.7	NO. 0+6.38と同断面
小 計	9.60			4.8			4.5	
※測点・距離は鋼 矢板展開図より								
合 計	23.43			8.5			7.3	

仮設平面図

(参考図)



図面番号	第3枚内1号
図面名称	四軒屋川改良工事 仮設平面図(参考図)
縮尺	S=1:300
製図年月日	
写図年月日	
米子市都市整備部都市整備課	

仮設横断面図

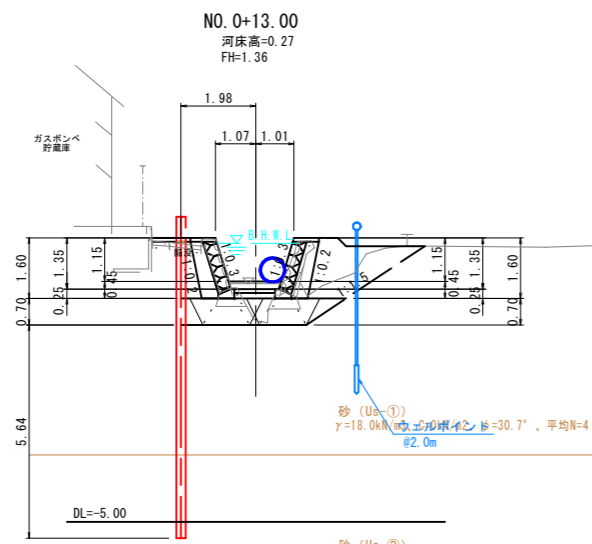
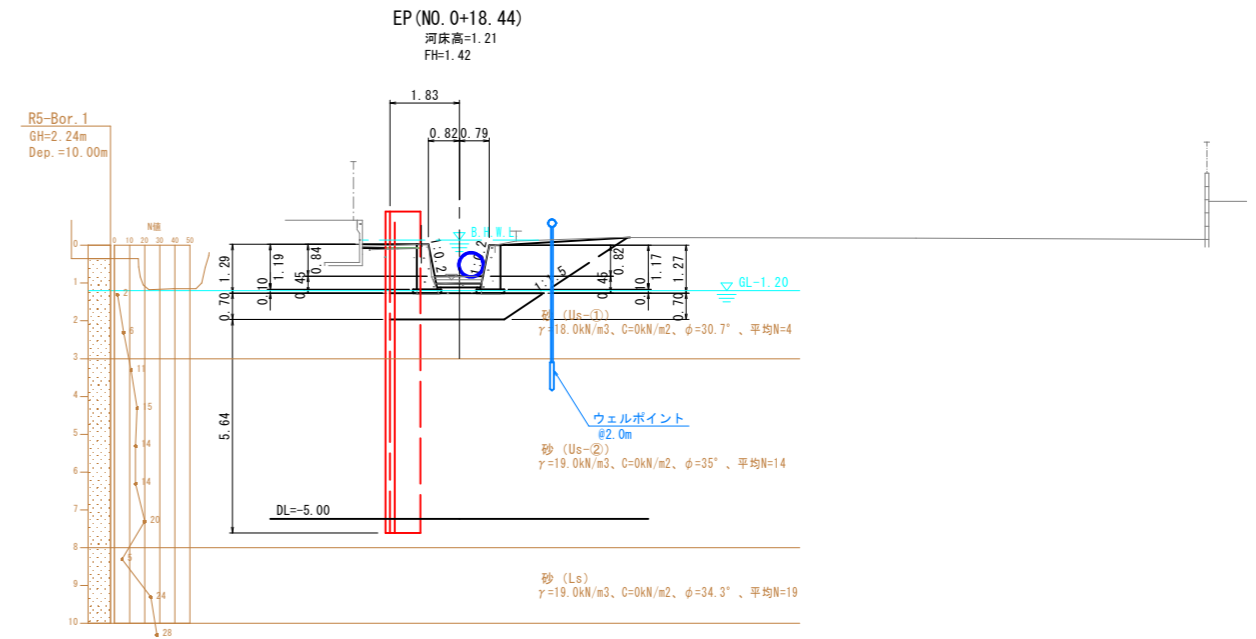
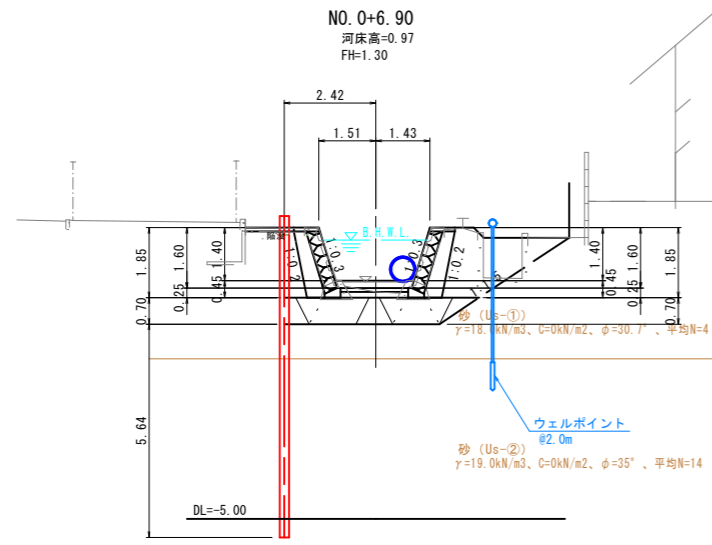
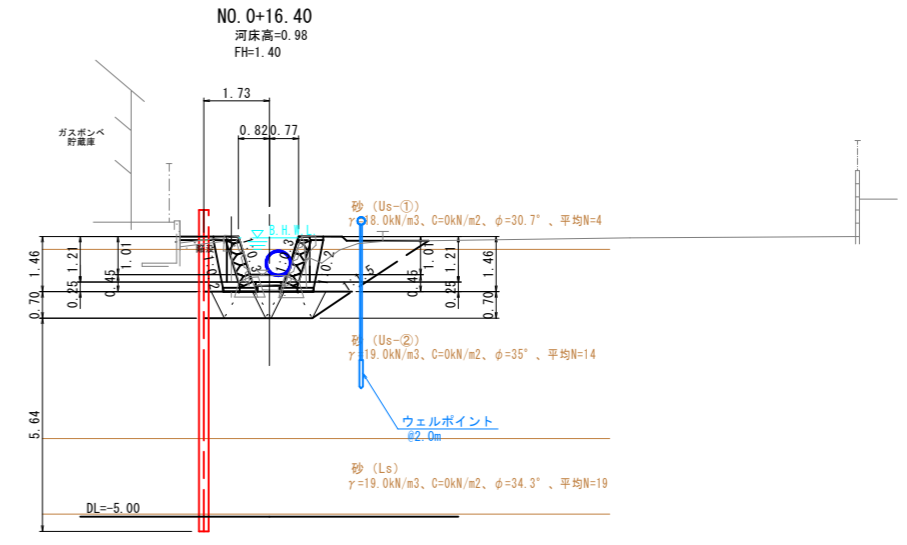
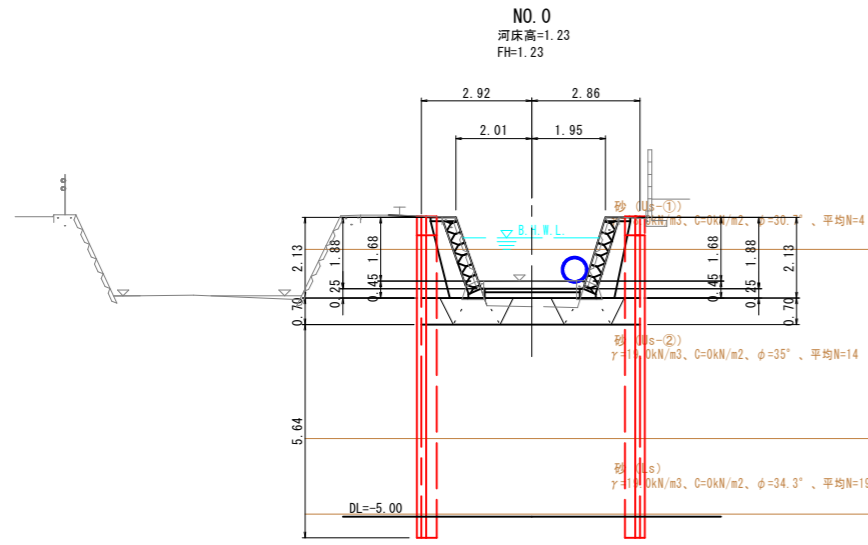
(参考図)

D=3.400

D=1.882

NO. 0		左岸数量	右岸数量
仮設工	床掘り	0.7	0.8
作業土工	埋戻し	0.5	0.7

NO. 0+6.90		左岸数量	右岸数量
仮設工	床掘り	0.1	-
作業土工	埋戻し	0.1	-



砂 (Us-2)
γ=19.0kN/m³, C=0kN/m², φ=35°, 平均N=14

砂 (Ls)
γ=19.0kN/m³, C=0kN/m², φ=34.3°, 平均N=19

図面番号	第 3 枚内 2 号
図面名称	四軒屋川改良工事 仮設横断面図 (参考図)
縮尺	1:200
製図年月日	
写図年月日	
米子市都市整備部都市整備課	

D=6.900

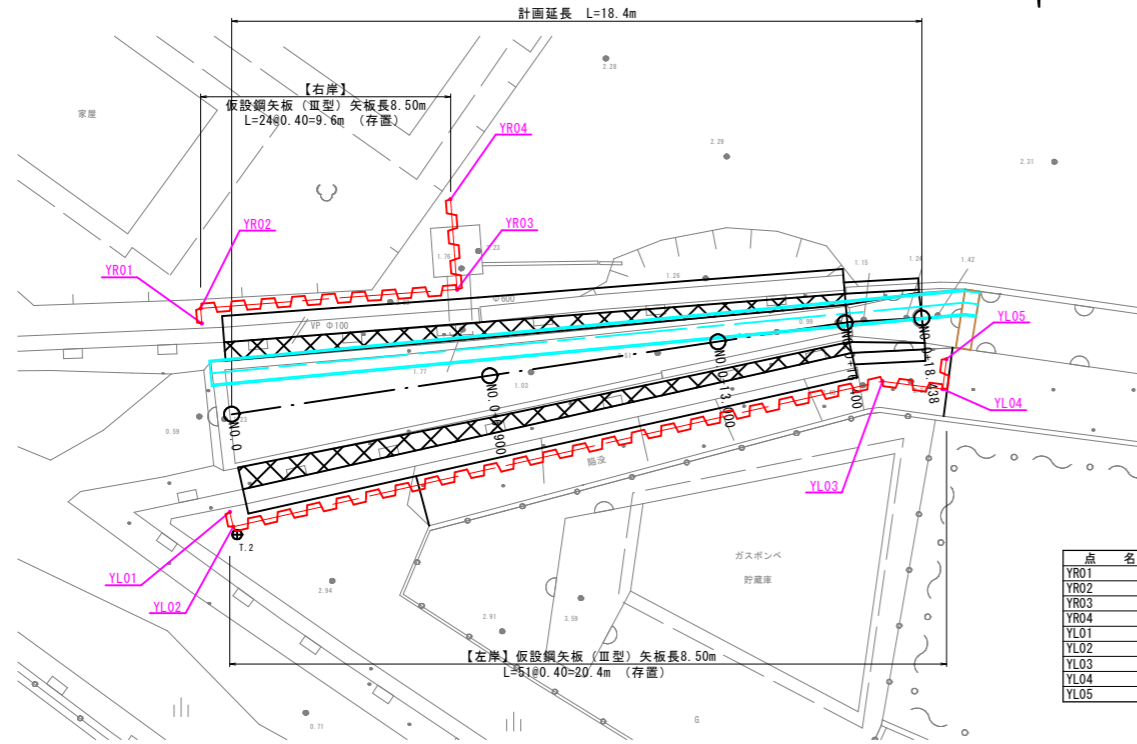
D=6.100

仮設鋼矢板配置図

(参考図)

仮設鋼矢板配置平面図

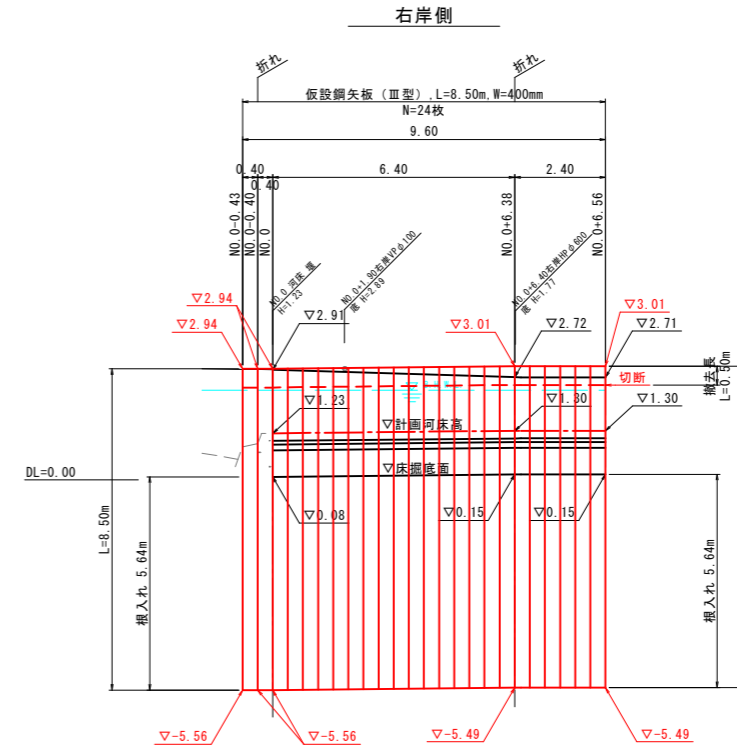
S=1:200



点名	座標一覧	
	X	Y
YR01	124.672	118.018
YR02	124.702	119.417
YR03	117.921	119.927
YR04	118.101	122.321
YL01	123.916	114.033
YL02	123.827	113.643
YL03	106.662	117.532
YL04	105.075	117.330
YL05	104.974	118.124

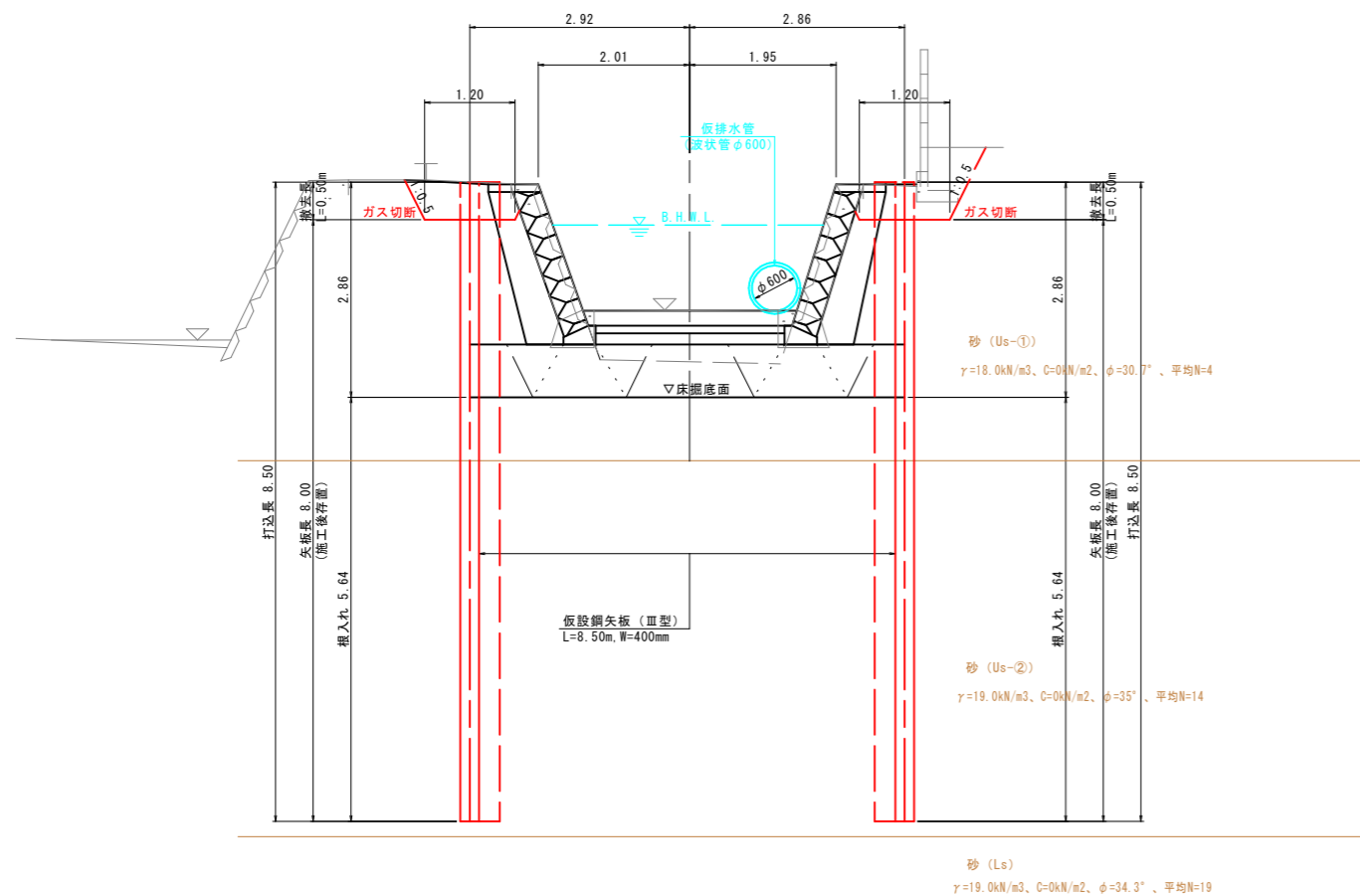
仮設鋼矢板展開図

S=1:200

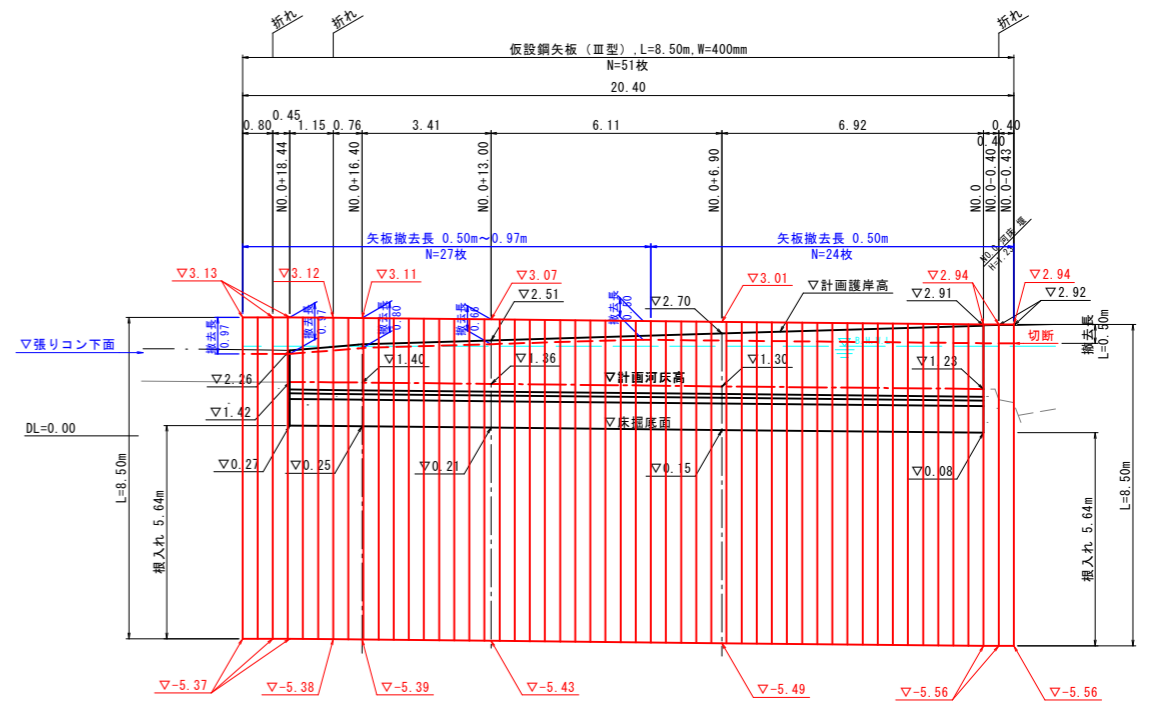


仮設標準横断面図

S=1:100



左岸側



※矢板の撤去長は500mmを基本とするが、張りコンクリート下面~矢板天端までの長さが500mm以上となる場合は、張りコンクリート下面で切断すること。

図面番号	第3枚内3号
図面名称	四軒屋川改良工事 仮設鋼矢板配置図 (参考図)
縮尺	図示
製図年月日	
写図年月日	
米子市都市整備部都市整備課	